

国産繭・生糸サポーター制度 —通称“国産繭・生糸応援団”— を創設

古代から日本の伝統・文化とともに歩んで来た我が国の蚕糸業は、現在、存亡の危機に直面しています。多くの方々のご理解のもと支援の輪が広がるよう「国産繭・生糸サポーター制度（通称“国産繭・生糸応援団”）」を創設することとし、別紙によりサポーター募集を開始します。

■趣旨

国産の繭・生糸に対する思いを同じくする「国産繭・生糸サポーター」（以下「サポーター」という。）の情報ネットワークを構築して、国産繭・生糸に関わる様々な情報の発信、共有を行うことにより、国産繭・生糸に対する理解が深まり、また、国産繭・生糸に関する様々なイベントが開催されること等を通じて、日本の蚕糸業に対する支援の輪が広がることを目指します。

■具体的な活動内容

当面以下のような活動を行い、将来的にはさらに発展した活動ができるよう検討していきます。

- （１）大日本蚕糸会からサポーターに対して以下のような情報をお送りします。
 - ・「蚕糸の日」のイベントや講演会等の情報
 - ・蚕糸関連のWEB 記事情報
 - ・シルクレポートや統計データ等の情報
- （２）サポーターの方々が実施するイベント等で上記趣旨に沿うようなものの情報（例えば、蚕糸関係の博物館の企画展、子供たちにカイコに触れてもらうイベント、国産生糸を使用した製品の展示会等）を他のサポーターにお送りします。

<お問い合わせ先>

一般財団法人大日本蚕糸会 サポーター事務局 silk-info@silk.or.jp

日本の絹シルクを 守りたいから

国産繭・生糸 サポーター 募集

サポーター
登録料

無料

古代から日本の伝統・文化とともに歩んできた
我が国の蚕糸業が“危機的状況”です。

今行動しなければ、

日本の絹は無くなってしまう・・・

というところまで差し迫っています。

この状況を理解し、我が国の蚕糸業を
応援いただける方を募集しています。

全国の
養蚕農家数
134戸

養蚕農家
2/3が
70歳以上

養蚕農家
労賃時給
550円以下



この活動について

国産の絹糸は、日本の暮らしと文化を支えてきた大切な素材です。

この活動は、その価値を理解し応援する「サポーター」を募り、情報発信やイベント紹介を通じて、絹の魅力を広めていきます。

共感の輪が広がることで、蚕糸業への支援の輪につながり、日本の絹がある未来になります。ぜひご参加ください。

サポーターになると

<情報を受け取れる>

- 国産蚕糸関連のイベント・講演会等の情報
- 蚕糸に関するWEB記事や文献
- シルクレポート・統計データ等

<情報を届けられる>

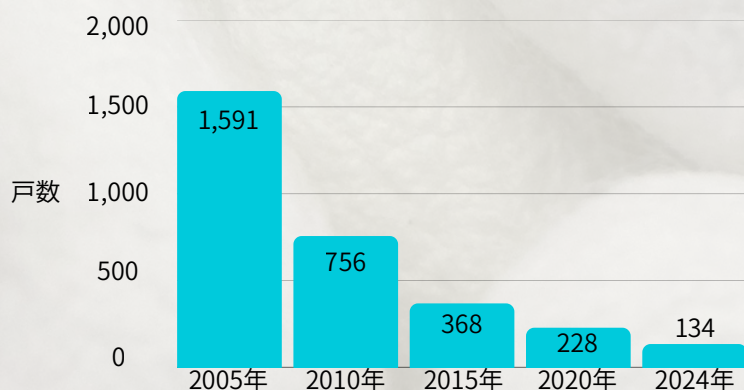
サポーターの皆さんが企画・参加するイベントを紹介します。

- 例えば
- 蚕糸に関する博物館での展示企画
 - 子どもたちがカイコにふれる体験会
 - 国産の絹を使った製品の展示会 など

詳しくはこちらから ▶



全国養蚕農家数



2024年養蚕農家年齢構成

